

JAXA の柳川有人宇宙技術部長が資料 8-2(若田飛行士)を 4 分余で説明した後、2 分弱の質疑応答があった。(ブランチ・チーフは、世界中から集まった宇宙飛行士の職務分担として予め締結された協定の範囲にあって、若田飛行士の搭乗機会や処遇(給与)には変更が無い。米国人以外がチーフに就いたのはカナダ・ESA に続く 3 例目で、勿論日本人としては初の荣誉である。)

野本: 此れは結局、若田さんが非常に優秀であると言う事が NASA で認められたと言う事の照明になる訳ですか。

JAXA 柳川: はい、其の通りだと思います。あの、外国人宇宙飛行士で、カナダそれからもう一つ、歴史を調べた処ですネ、ESA も一例ありましたけども、まあ、今回 3 例目と言う事ですので、日本人では当然初めてであります。

野本: それで、若田さんが此の... まあ、どちらにしる順番ですから、あの、今、飛ぶ機会と言うのは決まっている訳ではありませんけれども、此の立場に立ったから飛ぶ事が無いとか、そう言う事ではないと言う事ですネ。

JAXA 柳川: エエ、そう言う事はありません。あの、搭乗が決まりますとですネ、此のチーフのポジションを止めてですネ、それで訓練に従事すると云う、そう言う手順になります。

池上委員長: じゃ、忙しくなる訳ですか。

JAXA 柳川: はい、あの、かなり忙しい。人数からもですネ、此のステーション・オペレーション・ブランチはあの、30 人。此れはあの、通常の業務とですネ、後あの、アサインされた宇宙飛行士も入ってですネ、大所帯です。だすから其れ等の

面倒をですネ、見ると云う意味ではかなり忙しいポジションです。

池上委員長: で、チーフ手当みたいなのは？

JAXA 柳川: 契約はですネ、ありません。契約の条項に変更ありませんので、そう言う手当はありません。

池上委員長: エエ、まあ、従来の JAXA との契約に基づいて結局支払ってると云うだけで、あの、此のチーフ手当と云うものはありません。

池上委員長: 他に何か御座いませんか？ どうも有り難う御座いました。日本にとって良い話だと思います。それでは...(次の議題に進んだ)